

興福寺で 放送大学 —古代史の舞台 「奈良盆地」—



まきむく

纏向遺跡に見る

古墳時代始まりの頃の環境



奈良女子大学研究院人文科学系教授

宮路 淳子氏

JR万葉まほろば線に巻向という駅があります。

大神神社最寄りの三輪駅の隣になります。

古墳時代の初め、大神神社の麓近くに箸墓古

墳は築造されました。箸墓古墳を含んだ纏向遺跡とその周辺地域は、弥生時代の終わりから古墳時代の始まりを考えるうえで大変重要な場所です。当時の様子を、遺跡から出上る動物・植物など環境指標の側面から考えてみたいと思います。

申し込み方法 ウェブサイトのみで受付

奈良学習センターウェブサイトまたは右のQRコードからお申し込みください。

※電話・メール・FAXでのお申し込みはご遠慮ください。

先着順に受付、定員に達し次第終了します。



問い合わせ先

放送大学奈良学習センター

〒630-8589 奈良市北魚屋東町 奈良女子大学コラボレーションセンター3F

TEL 0742-20-7870 / 月祝除く10:00~17:00

2024. **10.27** [日] (開場 12:30) 13:00~16:20

■会場

興福寺会館

〒630-8213 奈良市登大路町48

■定員・参加費

180人

一般参加歓迎

無料



唐古・鍵遺跡
復元楼閣

米づくりが始まった頃の奈良 —弥生時代の唐古・鍵遺跡—



同志社大学非常勤講師 **藤田 三郎氏**

平城京から藤原京へと車を走らせる途中、渦巻状の軒先飾りをもつ異様な建物が三輪山を背景に見えてきます。これは2000年前の「楼閣」という建物で、田原本町の唐古・鍵遺跡史跡公園に復元されているのです。この地は、ヤマト王権が誕生する段階まで近畿地方の盟主的な大集落「唐古・鍵遺跡」が約700年に亘って営まれたところです。奈良盆地はさまざまな古代史の舞台となった場所ですが、その始まりとなる唐古・鍵遺跡を通してその特徴をみていきたいと思います。

興福寺境内案内



交通案内：近鉄奈良駅から徒歩約5分 / JR奈良駅から徒歩約15分 ●なるべく、公共交通機関をご利用ください。

【主催】放送大学奈良学習センター 【共催】法相宗大本山興福寺

【後援】なら・観光ボランティアガイドの会、朝日新聞社 寺社文化財みらいセンター、奈良女子大学、桜井市教育委員会、田原本町教育委員会